

UNITE FOR GOOD

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

白
信



2025

10



2025-2026 年度

ガバナー 瀬戸隆海

UNITE FOR GOOD

よいことのために手を取りあおう

目 次



10 月は 地域社会の経済発展月間・米山月間です

ガバナー メッセージ	3	公式訪問紹介	13
10 月～地域社会の経済発展月間によせて 「常総市長 神達 岳志」 「つくばみらい市長 小田川 浩」	4	ガバナー時代回顧録	15
10 月～米山月間によせて	6	ガバナーエレクト事務所開設のご案内	17
研究会報告 青少年奉仕セミナー	7	新入会員紹介	18
我がクラブ紹介 水戸 RC 笠間 RC 水戸西 RC 水戸南 RC 友部 RC 水戸東 RC 水戸さくら RC 水戸好文 RC 茨城 RE	8	会員増強報告	19
		地区予定表・編集後記	20

題字・表紙写真

10 月 みやび絵歳時記

あじわい 実のおもたさに 季節をうつす

作者 澤田 憲一

栗やイチジク、洋ナシ等々、秋の実りの嬉しさや有難さを実感。



ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2820地区
2025-2026年度ガバナー
瀬戸 隆海（水海道RC）

会員諸兄の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

さて、報道等にて御承知の事とは存じますが、日本のロータリアンにとって象徴の人とまで言われておりました裏千家大宗匠 千玄室翁が、去る8月14日に御歳102歳でご逝去されました。

私が最後にお見掛けいたしましたのは、昨年11月にロータリー研究会において御挨拶いただいた時でありました。いつものように101歳とは思えない、凛とした立ち姿でありました。

戦時中大宗匠は海軍特攻隊として加わり、霞ヶ浦の演習場にもおられたそうです。出撃命令が出され、いよいよ帰ることのない飛行機に乗り込み、出発する直前に出撃中止となり飛行機から降りたときの気持ちや、後に仲間たちが出撃していく姿を見送る自分にやるせなさを感じていた時の事や、終戦を迎え京都に戻ってきた事などを思うにあたり、また茶事を執り行なう時、いつも「平和へ祈りを込めている」ことをお話されていました。そのようなお気持ちをお持ちだからこそ、国内はもとより海外にも積極的に出かけられ、講演や茶道のパフォーマンスを繰り広げておられました。

大宗匠のお点前の作法は、繊細でありながら且つ豪快さもあり、私が知恩院の献茶式で拝見した時には、裏千家の茶事は、こんなに豪快に大きく振る舞うのだとその時は思いましたが、後で関係者に伺ったら、大宗匠独自のパフォーマンスだとお聞きし納得いたしました。ご生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈りいたします。



さて、話は変わりまして、今月は米山月間です。

先日、北村仁米山財団理事から、当地区において以前米山奨学生としてお世話させていただいた方が、昨年の秋の叙勲で旭日重光章を受けられたというお話をお伺いし、詳細を米山財団本部に問い合わせましたところ、1989-90学年度に那珂湊RCが世話クラブとなり米山奨学生として在学されていましたが台湾国籍の方で、お名前は李嘉進（リカシン）様という方でした。帰国後は、政府の経済部、立法委員、国家安全会議諮問員、亜東関係協会会長を歴任し、現在は台北大学で教鞭を執っているそうです。

また過去においては、米山奨学生で叙勲された方は全国で19名の方がおられましたが、そのうち5名の方が2820地区の奨学生であったということも聞き、当地区としては大変誇り思うしだいでもあります。

米山奨学生の趣旨は、貧困学生に奨学金を与えることではなく、日本と奨学生の母国を結ぶ平和の懸け橋となって、いただく事であります。そう考えると、まさしく李様は日本と台湾との平和の懸け橋を実践していただいている方であると思います。

そのような意味の中で米山奨学金制度を改めて啓蒙し、一人でも多くの外国人留学生に奨学金の支援できますようご協力お願い申し上げます。





10月～特別月間によせて～ 「常総市～地域社会の経済発展について」

常総市長

神達 岳志

常総市は、豊かな自然と歴史的な街並みが調和した魅力あふれるまちです。しかしながら、少子高齢化や人口減少といった課題に直面し、地域の活力を維持・向上させるためには、新たな取り組みと未来志向の施策が必要不可欠です。そこで、「中心市街地の賑わい再生」「デジタル技術の活用」「6次産業化・地域ブランド化」「アグリサイエンスバレー事業」などを軸に、常総市の持続可能な発展戦略の取り組みを進めております。

まず、中心市街地の賑わい再生は、市民が集う場や子どもが遊びやすい広場環境の創設、そして、2023年にオープンした「道の駅常総」から市街地や観光地へ周遊してもらえる仕組み作りを推進し、歴史的建築物や商店街の魅力を活かしつつ、デジタル技術を駆使した情報発信やイベント開催によって、人々の関心を引きつけ、市内外から多くの人々が訪れる仕組みを整備していきます。

また、「デジタル技術」の積極的な導入は、地域経済の競争力強化に直結します。官民連携での取り組みなどを積極的に推し進めていき、常総市として新たな時代の先駆けとなるまちを目指し、行政サービスの向上だけでなく、農業にもAIなどを活用したスマート農業を推進し、コスト削減と収益力アップを図り、新たな価値創造につなげ、さらに、新たな雇用創出と地域経済循環の促進「6次産業化」と「地域ブランド化」によって、市内産品の付加価値向上と認知度アップも進めていきたいと思っています。

その中で、「アグリサイエンスバレー事業」は、最先端技術と農林水産業との融合による新しい産業創出を目的としています。大学や研究機関、企業との連携によって、高付加価値商品開発や新規事業育成支援を行いながら、新産業団地設立などの新たな雇用創出や産業団地整備を推進し、滞留人口や定住人口の増加につなげていきます。

以上のように、デジタル技術の活用によるコスト削減や収益アップ、6次産業化の推進、産業団地の設立による税収増戦略など、多岐にわたる施策が連携し合いながら進められ、これらの取り組みを通じて、常総市の地域社会経済の活性化と財政再建を実現し、持続的発展へ向かって引き続き推し進めてまいります。



結びに、未来は私たち自身の手でつくりだすものです。市民の皆様と共に歩み、10年、20年、そして50年と、新しい常総市へと進んでまいりますので、皆さまにも今後ともご理解ご協力のほどお願い申し上げますとともに、水海道ロータリークラブの更なる発展と皆様のご健勝、ご活躍をご祈念申し上げます。



10月～特別月間によせて～

「人口増加を追い風に つくばみらい市が描く地域経済の未来」

つくばみらい市長

小田川 浩

全国的に人口減少が進む中、つくばみらい市は着実な人口増加を続けています。首都圏への優れたアクセス、自然と都市機能のバランスの取れた住環境、そして子育て世帯への手厚い支援策が新たな住民を呼び込み、本市は今、大きな転換点を迎えています。この好機を一過性のものとせず、地域経済の持続的な発展へと結びつけるため、多角的かつ計画的な取り組みを進めています。

その一つが、「儲かる農業＝みらい型農業」への転換です。米の生産力を活かしながら収益性を高める仕組みづくりを進めており、現在は流通拠点の整備に着手したところです。これにより出荷効率の向上や販路拡大が期待され、単なるブランド化にとどまらない、持続性と収益性を兼ね備えた農業の実現を目指しています。



工業団地の造成も地域経済の新たな推進力となりつつあります。すでに日清食品をはじめとする大手企業の立地が決定し、今後は雇用の拡大や関連産業の進出による波及効果が見込まれます。人口増加による生活需要の拡大とあわせて、製造業や物流業の集積が進むことで、「市内で働き、市内で消費する」という経済循環が形成され、地域全体の安定的な成長につながると考えられます。

また、都市基盤の整備も重要なテーマです。人口流入が続くみらい平地区はすでに飽和状態にあり、さらなる成長を見据えた隣接地での新市街地計画を進めています。これにより居住地の確保だけでなく、商業施設や公共サービスの新たな展開も見込まれ、利便性と生活の質が一層高まることが期待されます。都市開発は経済発展を受け止める重要な基盤であり、人口増加の流れを持続的な成長につなげるための不可欠な取り組みです。

こうした施策を支えているのが子育て世帯への充実した支援です。保育環境の整備や教育支援の拡充が移住を後押しし、将来的な地域の担い手育成につながっています。人口増加は単なる数字の増加ではなく、地域の未来を担う人材との出会いであり、保育・教育分野への投資は長期的な地域力の向上に直結します。



農業、工業、都市開発、そして子育て支援。これらの取り組みが相互に作用することで、本市は「住み続けたいまち」「働き続けられるまち」としての魅力をさらに高めています。こうした流れの中で、地域の企業人や専門職として活動するロータリー会員の皆様にも、それぞれの経験や知識を活かしながら、ぜひ本市のまちづくりに関わっていただきたいと願っています。互いに理解し支え合いながら、つくばみらい市の地域社会経済の持続可能な発展に向けて共に歩んでいきましょう。



10月～特別月間によせて～ 「米山月間」

国際ロータリー2820地区
米山記念奨学会 総括委員長

岩田 光造（水戸東RC）

何故米山月間は10月なんだろう？私自身は、5年前に米山の事業にカウンセラーとして関わりました。米山年度4月～3月。ロータリー年度は7月～6月と、米山は日本独自の活動、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会。1952設立され今年で73年の歴史を誇ります。2025年度奨学生964名の奨学生を受け入れ、累計奨学生は24,830人134の国と地域に及びます。

この歴史ある平和活動事業に携わらせていただけることを、誇りに思うと同時に、先輩ロータリアンの皆様に尊敬の念と感謝の意を表します。

「ハイライト米山」には、米山梅吉翁が逝去した4月28日までの1週間を「米山週間」とすることが決定しました。しかし4月では採用されたばかりの奨学生に卓話を依頼することに無理ある。という事も理由の一つで10月に米山月間が移動したようです。

奨学生がクラブとも馴染み始めている頃かとも思います。またクラブによっては、奨学生の卓話がプログラムに入る時期かとも存じます。是非奨学生の卓話に耳を傾けていただける様、お願い申し上げます。彼らの話に耳を傾けることによって、私自身も自分の世界観が変わったので、この場をお借りして共有したいと思います。私は奨学生と向き合うために準備することがいくつかありました。先ず奨学生の母国について調べます。首都や地理、地政学的事（日本は海に面しているので他国の方と我々の日常と差が色々有る事に気が付きます）人口や平均年齢。主要産業や言語等。この準備が有ると、会話がとてもスムーズであり、自分の知識と情報の答え合わせに成ります。また予め10問位の質問も常に準備していました。奨学生から見た日本や、文化や生活の違い等オーソドックスな事、趣味や楽しみ、将来の夢。奨学生の目を通して日本を見たり海外の感覚が分かる貴重な体験に成ります。情報格差は歴然です。笑い話でも何でもなく「寿司天ぷら侍、忍者」世界の人口半数は日本の現在を知らないし、偏見も根強くあります。我々日本人も知らない国のほうが多いのではないのでしょうか？奨学生の中には日本人より日本を理解（俯瞰的視点）している学生もいます。相互理解とは、お互いの現状を正しく把握することだと思います。

私は米山記念奨学会を通して、他国と民間の相互理解を深め平和な国際社会への貢献を日本のロータリアンの皆様と共に続けて参ります。134の国と地域24,830人の歴代奨学生がスピーカーとなって、日本の文化や楽しい思い出を世界との懸け橋となって拡散してくれています。また日本国において米山学友会に席を置き活躍している元奨学生も多くいます。米山への寄付が世界平和に貢献していると信じ、地区委員・カウンセラー・世話クラブ・潤世話クラブの皆様と汗をかき、会員お一人お一人のロータリアン皆様と共に世界平和に貢献していきましょう。

米山記念奨学会について、今後も一層のご理解・ご寄付の程よろしく申し上げます。



青少年奉仕・ローターアクト研究会報告 (7月27日開催)

国際ロータリー2820地区
青少年奉仕委員会 総括委員長

宇留野 秀一 (水戸南RC)

7月27日(日)、ホテル日航つくばにおいて「青少年奉仕・ローターアクト研究会」を開催いたしました。当日は地区役員、地区委員、各校顧問の先生方、インターアクター、ローターアクター、青少年交換留学生、そして各クラブの青少年奉仕関係者など約100名が参加し、盛会のうちに充実した一日となりました。

まず、瀬戸隆海ガバナーによる点鐘・開会挨拶に始まり、担当カウンセラーの池田正純パストガバナー、中村澄夫パストガバナーからご挨拶をいただきました。その後、前年度総括委員長の高田稔美氏より昨年度の活動報告と課題が述べられ、続いて本年度総括委員長の宇留野より、新年度の活動方針や今後予定される青少年奉仕関連のイベントについて案内いたしました。今年度は「平和と環境」をテーマに掲げ、地域の青少年が広い視野で社会課題を考える機会を創出してまいります。

続いて、ローターアクト委員会からの活動報告があり、塚越俊祐総括委員長、原悠樹前地区代表、水村成也地区代表より、それぞれ今後の活動への抱負や会員増強への意欲が語られました。報告は発表者の個性も交えながら行われ、ローターアクトの皆様の意欲的な取り組みと希望に満ちた姿勢を感じることができました。

昼食休憩をはさんだ午後の部では、各委員会からの報告が行われました。インターアクト委員会(柴沼博之委員長)からは、昨年度5年ぶりに実施された台湾研修の報告があり、その後、各校インターアクトクラブの代表者による活動発表が続きました。どの学校も高校生らしい澁刺とした奉仕活動を発表し、参加者に強い印象を残しました。青少年並びにライラ委員会(渡部俊介委員長)からは、前年度のRYLAセミナーの成果報告と、来年5月に予定している次回セミナーについて案内がありました。また、青少年交換委員会(軽部守彦委員長)からは、長期・短期交換プログラムの説明と募集案内が行われ、さらに10か月間の交換留学を終えて帰国した中島花緒さんによる帰国報告があり、充実した海外生活の様子が語られました。

基調講演では、茨城大学理事の菊池あしな氏をお迎えし、「コミュニケーションを通じて、様々な人と出会う事の大切さ」と題してご講演いただきました。ネパールでのJICAプロジェクトやアートを通じたコミュニケーションといった具体的な経験を交えたお話は、参加者に大きな学びと刺激を与えるものでした。


その後のグループディスカッションでは、本日の研究会の内容を踏まえた活発な意見交換が行われました。各グループからは基調講演や報告への質問を軸とした発表があり、質疑応答を通じてより深い理解と成果の共有が図られました。

本研究会は、青少年が国際的な視野を持ち、平和と奉仕の精神を学ぶ貴重な機会となりました。ご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げ、ここにご報告いたします。





我がクラブ紹介



第3分区編

水戸ロータリークラブ

会長 成田 浩明
幹事 荒川 繁美

水戸ロータリークラブは、1951年に創立され、本年度75周年を迎えました。現在の会員数は女性会員4名を含む123名、平均年齢は58歳と比較的若く、転勤で入会された経験豊富な会員の割合がおよそ25%であることも大きな特徴ではないでしょうか。例会は、毎週火曜日にホテルテラスザガーデン水戸で開催されております。

例会の他にも懇親会や地元への奉仕活動など多岐にわたりますが全てをご紹介することはできませんので特徴のある取り組みについていくつかご紹介させていただきます。

当クラブでは会員からの「もっと気軽な懇親会を」との声を受けて「ロータリーを楽しむ会」を年に3回ほど企画しています。昨年度の最終例会の夜には、クラブ内のメンバー4人で結成したクラブバンドが熱演を披露し、多くの会員と共に盛り上がりました。そして本年度は類似事業として7月15日にアサヒビールを楽しむ会を実施しました。第3分区内の他クラブからも多くのロータリアンにご出席いただき、分区内の交流が深められました。

帰京されたOB会員会社への職場訪問も実施しています。例えば東京駅の駅長室や日比谷第一生命ビルの旧マッカーサー執務室などを見学した後にアサヒビール本社の展望レストランで東京在住のOB会員との懇親を深めます。

国際奉仕ではベトナムに帰りボランティア活動をしている米山奨学生への支援を13年余り継続しています。まさに母国と日本の架け橋的な事業は珍しいのではないのでしょうか。クラブ戦略計画でのビジョンは「進化する重厚なリーディングクラブ水戸を目指して」としています。今後も地域に寄り添い、未来を見据えた活動を続けてまいりますので、皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

笠間ロータリークラブ

会長 永田 康弘
幹事 大枝 輝生

笠間ロータリークラブは旧笠間市を中心に地域社会の発展と理解の促進を目的として今年で66年目となり、歴史と伝統を引継ぎ日々活動に取り組んでおります。

19名の会員のうち、5年未満の会員が11名と年数の浅いメンバーが多く在籍しておりますが先輩方の事業、活動を継続しつつ昨年度から始めた、青少年奉仕活動の一環としてのボランティア活動も取り入れて地域に根差したロータリー活動を積極的に行っていきたいと思っております。

笠間ロータリークラブの特色としては先輩会員から新入会員まで親子の様な年齢差はあるが、和気あいあいと活気のあるクラブとなっております。

水戸西ロータリークラブ

会長 鯨岡 則雄
幹事 小林 浩明

水戸西ロータリークラブは1960年に創立され、今年度で66年目を迎えます。「多様性・公平さ・インクルージョンなどの柔軟性を備えた活力ある魅力的なクラブ」をビジョンに掲げ、様々な活動を展開しております。

第一の特徴として、親睦活動を重視し居心地の良いクラブづくりを目指すことにより、月4回の例会は毎回80%以上の出席率を確保しております。

地域奉仕活動としては、経済的困難を抱える家庭を支援する「子どもフードパントリー事業」を年3回実施し、また水戸市内中学生の健全育成とスポーツ振興を目的に「水戸市中学校バレーボール大会 水戸西 RC 杯」を毎年夏に主催しています。さらに水戸女子高等学校のインターアクトクラブを支援し、また毎年米山奨学生を迎え入れて、青少年育成にも力を入れております。

国際奉仕活動としては、「奉仕プロジェクト推進バザー」を実施し、その売上をラオスの貧困層の子どもたちの支援に充て、教育機会の拡充に寄与しております。

また、昨年より本格的なクラブ戦略計画を策定し、会長方針の実現、3-Year Targetsの策定、会員増強、新しい奉仕プロジェクトの企画等に注力しております。

その他、コンペ600回を達成した“ゴルフ同好会”、奉仕活動で提供する米を自ら作る“米をつくり隊”、ワイン好きが集まりフランスのワイナリーまで旅をする“ワイン同好会”、絵画・写真等の趣味の会“悠遊倶楽部”など、若手からベテランまで会員同士の楽しい交流を深めております。

そして今年度は当クラブから金澤卓也会員が第3分区ガバナー補佐を務めており、他クラブとも積極的に交流・連携を深めて参ります。

水戸西ロータリークラブは、明るく自由な雰囲気の中で、志ある仲間と共に奉仕の心を育み続けて参ります。

水戸南ロータリークラブ

会長 石井 浩一
幹事 川上 英則

1973年5月にチャーターメンバー29名で創立し、今年54期目を迎えました。姉妹友好クラブとして、青洲西原RC（韓国）、シーロムRC（タイ）、高松西RC（香川県）と長期的な関係を結び、地域理解や国際理解と親善を深め、共同で奉仕プロジェクトなどに取り組んでいます。毎週金曜日に例会を開催していて、会員数は75名、内女性10名、平均年齢59歳、最年長92歳から最年少35歳の会員で構成しています。

会員は地元で根差した経営者が多く、クラブの特徴を一言で表現すると、“親睦と奉仕活動が盛んなクラブ”と自負しています。

親睦活動で特筆すべきは、毎年2回ロータリー活動の良き理解者である会員家族を伴い、8月家族納涼例会、1月新年家族例会を盛大に実施しています。また、毎月末は夜の例会を開催し、会員同士の親睦を深めています。

まず、水戸南RCと言えば、子供食堂（「おひさま食堂」）と言われるほどに地域に根差した活動が10年目に突入。昨年はRI2820地区初となるRCC（ロータリー地域社会共同隊：ロータリークラブの提唱によって結成されるRI認証奉仕プログラム）を立ち上げ、地域のボランティアに励んでいます。次に、長期休み前に、食料品や日用品、文具等を配布するボランティア活動を開催して5年目に突入しました。子供食堂のRCC化に伴い、今年度は子供たちを育む活動に挑戦します。

さらに、継続事業で20年以上に渡り、ミニバスケット水戸南ロータリークラブ杯を開催し、スポーツを通じた子供たちの健全な身体と心の育成に貢献してきました。

そして、周年記念事業として水戸市への寄贈品の紹介です。水戸市民会館の正面入り口に設置された大型ビジョン、水戸市役所正面西口前に設置されたデジタル時計、千波湖に設置された時計台など当クラブの寄贈品が市内あちこちに存在します。ロータリーロゴ（水戸南RCのプレート）を探してください。

次に国際奉仕事業の紹介です。フィリピンでは、中古救急車、中古消防自動車（大型ポンプ車）を寄贈しました。今年1月には、青洲西原RCと共同でスラム街の子供たちに食料品や日用品の配布なども実施し、2日間で900名超の来場者がありました。

タイでは、パツムワンRCと共同で、「この指とまれ」を活用し中古消防自動車を寄贈しました。また、シーロムRCとの共同事業として、グローバル補助金を活用し、タイ地方病院に人工透析器等の医療機器寄贈やタイ地方小学校に浄水器設置事業などを実施。今年度は、当クラブ単独で“中古車いす寄贈”を「この指とまれ」を活用して実施する計画です。

この事業は、タイの車いす利用者の方々に、水戸南ロータリアンが直接手渡すという企画を実現に向けて動いています。

このように、水戸南ロータリークラブはロータリーを楽しんでいます。

今後も地域に愛され、信頼されるクラブである為に、ロータリアンとしての誇りと責任を持ちながら、活動を続けてまいります。

友部ロータリークラブ

会長 遠藤 彰
幹事 和田 隆志

令和7年5月25日には、創立40周年記念例会を開催し、ガバナーや笠間市長をはじめ、多くの方々より温かい祝福を頂きました。

これも偏に、皆様のご支援とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

現在、当クラブには20名の会員が在籍しております。人数は決して多くありませんが、年齢の垣根を越えて互いに助け合いながら、和やかな雰囲気の中で活動を行っています。

例会は毎週火曜日穴戸ヒルズカントリークラブにて開催しています。

同会場は、日本ゴルフツアー選手権の舞台でもあり、大会期間中にはボーイスカウト笠間第2団と協力し、「ロータリー希望の風奨学金」への募金活動を行い、東日本大震災の被災遺児支援を継続しています。

また、笠間市社会福祉協議会との連携のもと、地域で奉仕活動を続けてこられた方々を対象に「ボランティア褒賞式」を実施し、その貢献を称えています。さらに、毎年開催される「ふるさとまつりINかさま」にも参加し、SDGsクイズや子ども向けのイベントなどを通じて地域との交流を大切にしています。

加えて、環境保全プロジェクトの一環として、「道の駅かさま」周辺道路の清掃活動もボーイスカウト笠間第2団と連携して行っております。年末には家族会も開催しており、会員だけでなくご家族同士の繋がりも深める温かな交流の場となっています。

水戸東ロータリークラブ

会長 磯野 敦義
幹事 飯島 広文

私共、水戸東ロータリークラブは、チャーターメンバーと共に厳格な例会スタイルを守る歴史あるクラブです。

本年10月で創立40周年を迎えます。

奉仕の理念を礎に、ロータリー財団、米山記念奨学会、そして奉仕活動の原資でありますここにBOXについても、目標金額に対し100%の達成をしております。

主な継続事業といたしまして、今年で18年目となり水戸市内より多くの中学生に参加いただく「水戸市中中学生春季ソフトテニス大会」、そして茨城大学の様々な国から来日している留学生と、日本文化の理解を深める「茨城大学留学生との心の交流会」があり、こちらは今年で36年目となります。

また、青少年奉仕事業としては日赤乳児院への支援を予定しています。価格高騰が続く米、おむつ、テレビ等を寄贈します。今年のクリスマスが子供たちにとって最高の思い出となるよう、準備をしているところです。

社会奉仕事業の観点からは、動物愛護啓発事業に取り組み、昨年は公益財団法人動物環境・福祉協会Evaの代表杉本彩さんに講演いただきました。500名収容のホールで一般の方も参加無料で講演を聞いていただくこととし、動物虐待の実情や社会全体での問題点をお聞きして、市民と会員の理解を深めたところです。本年は、水戸市動物愛護センターに医療器材の寄贈を予定しております。

厳格な例会スタイルと申しましたが、親睦活動は実に和やかに行っており、親睦ゴルフ大会は7月に153回目の開催となり、ゴルフ後の反省会においても多くの会員が参加して交流を図っています。本年は納涼例会他、親睦を深める機会も複数回予定しています。

当クラブでは、ダイバーシティの観点から女性会員の増強を行っていきたいと考えており、古き良きを守りながら、時代の潮流に乗った開かれたクラブを目指して活動して参ります。

水戸さくらロータリークラブ

会長 和田公一郎
幹事 井坂 純

水戸さくらRCの現状は、会員数が激減してしまい、今までとは全く違うクラブとなったことです。1年半前には45名ぐらいまで増えた会員数は、現在17名となり、クラブ運営も厳しくなりました。対策として例会数を減らし、親睦費を減らし、雑費もとことん減らしました。会費は少し値上げです。コピー紙1枚までどうしたら減らせるのかを考えました。例会場のホテルには原稿だけ持参して、コピーを頼んでいたのですが、1枚50円は今はかなり負担です。2年前に70万円かけて親睦費から負担した野球チームのユニホームや数十万かけた芋ほり、餅つき大会、奉仕活動として600万円かけた行った水戸市のトイレ修復など、今は考えられない話です。地区の研究会なども委員長が重なり、出席できないこともあります。会員構成は古い会員と新しい会員に二分化され、古い会員は会長、幹事を何度も任命されることとなっております。35年経つ我がクラブの創立会員も、いまだに最前線でクラブ運営に携わって頂いております。そんな中、入会年度の若い会員も「少ない人数でどのように例会を進行できるのか。」「効率的に会の運営を行えることはないか。」「雑費を減らすことはできないか。」など積極的に提案しています。私の入会当時、言われたことだけを淡々とこなしていたのとは大違いで、優秀な会員が残っています。

我がクラブ【水戸さくらRC】は若い力とともに変わります。今、できることを、会員一人一人が考え、身の丈に合ったクラブとして切磋琢磨しながら邁進していきたいと思います。

多くの方にご指導・ご協力を頂くこととなるかもしれませんが、今後ともよろしくお願い致します。

水戸好文ロータリークラブ

会長 友田 みわ
幹事 河野 秀幸

2010年の創立から16年目を迎えました。現在のメンバーは女性15名、男性2名の計17名と小規模ですが、設立当初から子育て支援を主軸とした活動を続けて参りました。

具体的な活動は以下の通りです。

- ①障がいのある子供たちの美術展「アール・ブリュット展」の開催。今年度で第13回を迎えます。
- ②水戸市子育て支援・多世代交流センター「わんぱく水戸」での玩具の清掃活動・寄付。
- ③家庭の事情で養育困難な乳幼児のための施設である「日赤乳児院」への寄付。
- ④小児がんなどの治療のため自宅を離れて入院通院する子供と家族のための支援センター「アフラックペアレンツハウス」へのタオルの寄付。
- ⑤子どもフードパントリー水戸の活動に参加（2024年から）。

また、本年6月の設立15周年記念式典では、茨城県立図書館と水戸市立図書館に絵本の購入資金を寄付しています。

例会は2014年から夜の開催に、2016年からは月2回の開催にしています。将来もクラブが長く続いていくために、会員が参加しやすく無理のない運営を心がけての改革の試みです。人口減少社会において、小は小なりの工夫を重ねていかなければ活動を継続していくことはできません。規模が小さいことも、お互いの顔がよく見え、クラブ内で助け合いながら柔軟に活動できることにつながっており、それはそれでこのクラブの良い点ではないかと思っています。こうした当クラブの特徴や奉仕活動に賛同し、一緒に活動していける仲間を、男女問わず増やしていきたいと考えています。

今後も当クラブらしい奉仕・支援活動に取り組んで参ります。

茨城ロータリーEクラブ

会長 徐 佳鋭
幹事 張 朔源

茨城ロータリーEクラブは、2019年に国際ロータリー第2820地区で初めて誕生したEクラブです。月2回（第1・第3土曜日）、夜19時からオンラインで例会を開催しており、時間や場所にとらわれず、多様なメンバーが集い、奉仕と親睦を深めています。

本クラブの大きな特徴のひとつは、元米山記念奨学生やロータリー財団奨学生が多く在籍していることです。平均年齢は約50歳、女性会員比率も50%と、多様性に富んだクラブとして、それぞれの経験と専門性を活かしながら活動を行っています。

奉仕活動では、子ども食堂の支援、災害被災地への義援金協力、外国人留学生との交流など、オンラインと対面の特性を活かした柔軟な活動を展開しています。地域社会との結びつきを大切にしながら、国際的な視点も併せ持った取り組みを目指しています。

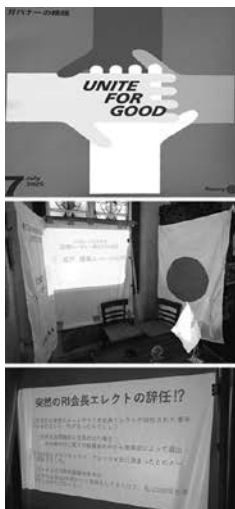
2024-25年度のクラブスローガンは「みんなで拓こう」。これは、既存の枠組みにとらわれず、Eクラブならではの可能性を探り、新しい奉仕のかたちを創り出していこうという想いを込めた言葉です。一人ひとりが主役となり、互いに学び、助け合いながら、未来に向かって道を切り拓いていくことを目指しています。

これからもEクラブの特性を活かし、会員同士のつながりを大切にしながら、柔軟かつ持続可能な奉仕活動を実践してまいります。

公式訪問

守谷ロータリークラブ

7月18日



2025-26年度国際ロータリー第2820地区第7分区分守谷ロータリークラブ
ガバナー公式訪問

祝 瀬戸 隆海 様 令和7年7月18日



猛暑の中、守谷市内イタリア料理店「さくら坂 VIVACE」にて開催されました。事前協議では従来からの課題であります会員増強問題に終始いたしました。例会ではガバナー卓話にて RI 会長の急な交代の理由とその手続き方法、RI 会長からのメッセージの解説、瀬戸隆海ガバナーのスローガンに基づく地区目標を解説していただきました。クラブ協議会では会員増強問題に関して本年度の守谷ロータリークラブのあり方をご教授いただきました。ガバナーのご活躍とご健康をご祈念申し上げます。ありがとうございました。

公式訪問

日立ロータリークラブ

7月22日



公式訪問

下妻ロータリークラブ

7月24日



例年より早い公式訪問でしたがクラブ皆様の協力もあり、スムーズな運営のもと学びの多い公式訪問となりました。地区補助金事業（砂沼一斉清掃）の砂沼周辺の見学、サテライトクラブの例会場・粉クリスタジオの見学を行い、クラブ懇談会では下妻 RCらしいキャッチフレーズや特徴を活かした発信を心がけてはとアドバイスを頂きました。杉田会長メッセージ「協力し、尊重し合えるロータリー」に向けての大きな学びの機会となりました。最後に野寺ガバナー補佐、事前準備からのご指導ありがとうございました。

公式訪問

那珂湊ロータリークラブ

7月28日



公式訪問

下館ロータリークラブ

7月30日



公式訪問

勝田ロータリークラブ

8月1日





ガバナー 回顧録

ロータリー活動の思い出

国際ロータリー 2820 地区
2006-07 年度ガバナー

佐藤 衛 (水戸南RC)

わたしの年度の国際ロータリー会長であり、長きにわたりロータリーの活動に尽力してきたビル・ボイド元国際ロータリー会長が、1月22日に亡くなりました。91歳でした。心よりお悔やみ申し上げ、ご冥福をお祈りいたします。

私たち日本のガバナー総勢34名はサンディエゴの国際協議会で、ボイド会長の「率先しよう」のテーマのもと、「マツケンサンバ」を踊り、ロータリー活動への全力投球を誓い合いました。

そのような中、北村パストガバナーや片岡パストガバナーが同地区の方々と懇意にしていた事もあり、タイのバンコク第3350地区の同期ガバナー、カセムチャイさんと知り合うことができました。以来、浄水器のプロジェクトや人工透析器の贈呈、消防自動車の贈呈などを通じてガバナー同士の交流は勿論のこと、2820地区と3350地区の交流も活発にできたと思っています。

パタヤビーチで開催された地区大会へもご招待いただき、カセムチャイガバナーはじめ、たくさんのタイのメンバーから妻と共に熱烈な歓迎を受けた事が思い出されます。また、私たち2820地区の地区大会へも10名を超えるメンバーと共にカセムチャイガバナーご夫妻にご参加をいただき、RI会長代理の橋本 譲様（倉敷RC）より活発な国際奉仕をお褒めいただきました。ただ、1日目のガバナー挨拶の時、タイのお客が多かった事もあり、来賓紹介の時間が長くなり予定時間が短縮されたため、原稿が使えずアドリブでの挨拶になりとても焦って緊張したのを覚えています。

瀬戸ガバナーには青少年交換委員長としてお世話になりました。その後2009-2010年度、私が青少年奉仕のカウンセラーの時には、「仕事の都合上1ヶ月もの海外渡航は難しい。」と一度辞退されたGSE団長を、北村パストガバナーと二人でお願いをして、無理に引き受けていただいたことが懐かしい思い出です。

ロータリーの理念と基本的な活動指針は普遍で変わるものではありませんが、自身のガバナー年度から18年が経過し、ロータリーを取り巻く環境や世相も大きく変化しています。それに伴い、理念に沿った戦略や戦術、そして活動のシステムも時代に沿った変革が求められているのだと思います。その一番新しい情報や考え方を習得しておられる瀬戸ガバナーには、是非とも私たちロータリアンをより良い方向に導いていただく事を期待しております。



ガバナー 回顧録

感謝とお礼 ～ロータリーにありがとう～

国際ロータリー 2820 地区

2007-08 年度ガバナー

井上 壽博(水戸RC)

第2820地区のロータリアンと家族の皆様へご挨拶できますことに感謝をいたします。
回顧録を書く機会をいただき、私がガバナーに選出されたときのお話をさせていただきたいと思いま
す

当時、地区指名委員会からガバナーエレクトの選出についてご依頼がありましたが、水面下では別の候補者に決まったことが伝わってきました。その当時私はクラブ会長を務めていましたので、安堵の気持ちで、良かったと拍手を送っていました。

ところが、数日経ちまして、その候補者の方が辞退するとの連絡をガバナー事務所にされたという話が入ってきました。

さて、それからが私にとって大変大きな事態を迎えることになるのです。

ある日の早朝、衣笠PGが私宅に来られまして「あなたがガバナーを引き受けなさい」と言われ、私は大変びっくりしました。

私は「とてもそんな器ではありません」と再々頭を下げ、ご辞退申し上げ、お帰りをいただきました。

そしてその同じ日のお昼頃、今度は丸山先生より「だめです、引き受けなさい」とお叱りの電話をいただきました。

そんなことがあり私も迷っていたところ、今度はその日の夕方に「ガバナーを受けないでほしい」と別の方が話に来られ、これにはたいへんな驚きでした。

しかし、私の気持ちは決断できないまま日を過ごしておりました。

いよいよ年度末になり、クラブの最終例会での点鐘が済み、幹事と共に「ありがとうございました」と、クラブの皆さんに1年間の感謝の意をお伝えしました

そして石島会長、豊崎幹事の新年度がスタートいたしました。その時に石島会長より懇々と説得され、クラブの皆さんの後押しにより、私はガバナーを受諾することを決意しました。

その後、豊崎幹事がガバナーのクラブ推薦書を作成しているのを見て、私は改めて気を引き締め、しっかりと勉強しなくてはと思いました。

まずは、地区の現況年次報告書、手続要欄、日本のロータリー50年史を熟読し、その後当クラブのPGである岡崎先生、衣笠先生、吉沢先生にご挨拶をし、様々なアドバイスを頂くことができました。

それから、ガバナーエレクト会議に出席、年明けてGETSに参加と続いていきました。

ありがたいことにガバナー補佐は既に決めていただいております、第一回会議、RIの方針、CLPの各クラブへの導入、公式訪問プラン等、なんとも多忙な時期が続きました。

そしてガバナー月信の発刊準備も始まり、地区大会においては、RI会長代理に市川伊三夫PG、記念公園講師に名取美和さんが決まった時は大変に嬉しく思いました。

最近はロータリーの方針や流れ、また用語も大きく変化しています。

また現在、地区内では6クラブが解散してしまい、これからの地区の運営、特に財務委員長・資金委員の方には、誠にご苦勞をおかけすることと思います。

結びに、水戸クラブの皆様には、私のガバナーの1年間が無事終了することができました事、改めてここにご支援に感謝と御礼を厚く申し上げます。

追記：

藤本総括委員長とともに群馬県嬬恋村にある「シェルドン博士顕彰碑」に行つてまいりました(千住会、小堀健介代表、アーサーフレデリック・シェルドンの研究、東地区では、木村功PG、吉沢、茂雄PGの名前が記載されていまして)

お勧めの1冊：ロータリー情報ハンドブック

Email: rotary@sugita-corp.com

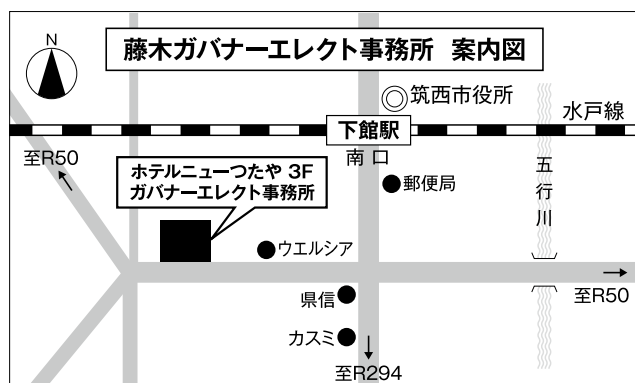
ガバナーエレクト事務所開設のご案内

気象庁によれば、今秋の気温は全国的に高くなるとの予報が出ております。まるで瀬戸
隆海ガバナーの熱い思いを映し出すかのようです。

このような中、9月2日より筑西市に「藤木ガバナーエレクト事務所」を開設いたしましたので、ご案内申し上げます。

当クラブより萩原亢雄パストガバナーを輩出してから、早くも20年の歳月が経ちました。2820地区を取り巻く環境は決して容易ではございませんが、地区ロータリアンの皆様のお力添えを賜りつつ、不易流行の精神を胸に、新たな歩みを進めてまいり所存です。

なお、当事務所はしもだて紫水RCの例会場と同じ「ホテルニューつたや」の3階にございます。鷺谷地区幹事、小倉地区資金委員、滝田事務局長、千葉栄子事務局員が業務にあたります。下館駅南口より徒歩3分の至便の地にあり、駐車場も十分に整っておりますので、お近くにお越しの際はぜひお気軽にお立ち寄りください。



藤木 章吉 ガバナーエレクト事務所

業務時間 10:00 ~ 16:00

※土・日・祝祭日は休業いたします。

〒308-0041 茨城県筑西市乙 907-1

ホテルニューつたや 3階

TEL : 0296-45-4701 FAX : 0296-45-4702

E-mail : 26-27@rid2820.jp



☆エレクト事務所スタッフ☆



☆9月2日 エレクト事務所開所式☆

✧新入会員紹介✧

Enjoy Rotary

(敬称略)



結城 RC
石田 昭規

■入会日
2025年4月2日

■職業分類
信用金庫



しもだて紫水 RC
末松 雅士

■入会日
2025年7月2日

■職業分類
電力



しもだて紫水 RC
飯田 秀夫

■入会日
2025年7月2日

■職業分類
樹脂製品および
金型製作



結城 RC
干田 聡太

■入会日
2025年4月2日

■職業分類
弁護士



阿見 RC
鈴木 潤

■入会日
2025年4月2日

■職業分類
葬祭サービス



つくば学園 RC
宮本 竜之

■入会日
2025年7月3日

■職業分類
医療・介護・
コンサルティング



龍ヶ崎中央 RC
宮本 めぐみ

■入会日
2025年7月4日

■職業分類
生命保険業



龍ヶ崎中央 RC
今村 聡

■入会日
2025年7月4日

■職業分類
人材派遣業



勝田 RC
関山 邦久

■入会日
2025年7月4日

■職業分類
酒類販売



つくばサンライズ RC
井汲 彰

■入会日
2025年7月8日

■職業分類
整形外科



つくばサンライズ RC
小林 里実

■入会日
2025年7月8日

■職業分類
皮膚科



つくば学園 RC
大野 佳典

■入会日
2025年7月24日

■職業分類
陶芸家



つくばサンライズ RC
國府田 英則

■入会日
2025年7月8日

■職業分類
パッケージメディア
製造



つくばサンライズ RC
杉山 達哉

■入会日
2025年7月24日

■職業分類
総菜製造業



水戸南 RC
鈴木 一弘

■入会日
2025年7月25日

■職業分類
土地家屋調査士



水戸南 RC
川上 知子

■入会日
2025年7月25日

■職業分類
生命保険



土浦南 RC
小田島 秀二

■入会日
2025年7月29日

■職業分類
税理士



つくばシティ RC
根岸 寛之

■入会日
2025年8月20日

■職業分類
生命保険業

国際ロータリー第 2820 地区 2025-26 年度 会員増強報告

区分	クラブ名	会員増強報告 (単位／人)								2025 年 7 月末日	うち 女性会員
		本年末 会員目標	期首 会員数	7 月実績		本年度累計					
				入 会	退 会	入 会	退 会	純 増			
第 1 分 区	日立	69	64	0	0	0	0	0	64	3	
	日立南	36	34	0	0	0	0	0	34	3	
	高萩	35	31	0	0	0	0	0	31	2	
	北茨城	29	25	1	0	1	0	1	26	3	
	日立港	34	32	1	0	1	0	1	33	2	
	日立北	38	35	0	0	0	0	0	35	4	
	日立中央	22	20	0	0	0	0	0	20	3	
	合 計	263	241	2	0	2	0	2	243	20	
第 2 分 区	那珂湊	17	16	0	0	0	0	0	16	1	
	常陸太田	40	37	0	0	0	0	0	37	6	
	大子	26	24	0	0	0	0	0	24	2	
	大洗	14	13	0	1	0	1	-1	12	0	
	勝田	26	24	1	0	1	0	1	25	3	
	東海那珂	35	32	3	0	3	0	3	35	0	
	ひたちなか	25	23	0	0	0	0	0	23	2	
	合 計	183	169	4	1	4	1	3	172	14	
第 3 分 区	水戸	133	123	0	0	0	0	0	123	4	
	笠間	22	19	0	0	0	0	0	19	0	
	水戸西	75	69	0	0	0	0	0	69	12	
	水戸南	85	75	2	0	2	0	2	77	11	
	友部	21	20	0	0	0	0	0	20	0	
	水戸東	68	63	0	0	0	0	0	63	4	
	水戸さくら	20	17	0	0	0	0	0	17	3	
	水戸好文	19	17	0	0	0	0	0	17	15	
	茨城 RE	12	10	0	0	0	0	0	10	4	
	合 計	455	413	2	0	2	0	2	415	53	
第 4 分 区	古河	54	50	0	0	0	0	0	50	5	
	境	42	39	0	0	0	0	0	37	0	
	岩井	12	9	0	0	0	0	0	9	2	
	古河東	49	45	0	0	0	0	0	45	14	
	古河中央	52	47	2	0	2	0	2	49	6	
	合 計	209	190	2	0	2	0	2	190	27	
第 5 分 区	下館	25	23	0	0	0	0	0	23	3	
	結城	25	23	1	0	1	0	1	24	0	
	真壁	14	11	0	0	0	0	0	11	0	
	下妻	69	64	0	0	0	0	0	64	7	
	しもだて紫水	52	49	2	0	2	0	2	51	4	
	筑西きぬ	16	14	0	0	0	0	0	14	3	
	合 計	201	184	3	0	3	0	3	187	17	
第 6 分 区	石岡	18	16	0	0	0	0	0	16	0	
	土浦	53	46	0	2	0	2	-2	44	8	
	土浦南	93	86	1	0	1	0	1	87	5	
	つくば学園	110	105	4	1	4	1	3	108	6	
	石岡 87	28	25	0	1	0	1	-1	24	0	
	土浦中央	13	11	0	0	0	0	0	11	0	
	つくばシティ	59	54	1	1	1	1	0	54	8	
	阿見	24	23	1	0	1	0	1	24	1	
	つくばサンライズ	19	17	2	0	2	0	2	19	7	
	合 計	417	383	9	5	9	5	4	387	35	
第 7 分 区	竜ヶ崎	38	35	0	0	0	0	0	35	5	
	水海道	51	48	0	0	0	0	0	48	2	
	取手	16	14	0	0	0	0	0	14	1	
	牛久	41	38	0	0	0	0	0	38	3	
	守谷	5	3	0	0	0	0	0	3	0	
	龍ヶ崎中央	15	12	2	1	2	1	1	14	2	
	合 計	166	150	2	1	2	1	1	152	13	
第 8 分 区	鉾田	29	27	0	0	0	0	0	27	0	
	鹿島臨海	45	40	0	0	0	0	0	40	5	
	玉造	10	9	0	0	0	0	0	7	1	
	波崎	18	15	0	0	0	0	0	15	1	
	鹿島中央	21	19	2	0	2	0	2	21	2	
	合 計	123	110	2	0	2	0	2	110	9	
地 区 合 計		2017	1840	26	7	26	7	19	1856	188	

※期首とは7月1日の午前0時時点、末日とは当日午後12時時点とする。

10月ガバナー公式訪問・研究会日程表

1	水	古河中央	12	日		23	木	石岡 87
2	木	水戸東	13	月		24	金	
3	金		14	火	古河東	25	土	茨城 RE
4	土	第2回 AG・総括 委員長会議	15	水	石岡	26	日	END POLIO
5	日	地区大会記念野球大会	16	木		27	月	
6	月		17	金		28	火	北茨城
7	火	水戸	18	土		29	水	土浦中央
8	水	水戸西	19	日		30	木	日立港
9	木	波崎	20	月		31	金	
10	金		21	火	真壁			
11	土		22	水				



月信 10月号編集後記

9月に入りましても厳しい暑さが続く中、全国各地において台風や水害の報道が後を絶ちません。また、コロナウィルスが再び流行の兆しも見えております。全ての皆様の安全を願うばかりです。さて、ガバナー月信委員会では、不慣れな作業に追われておりますが、先日クラブ内及び月信編集委員より「我がクラブ紹介記事」に対しまして、ニコニコBOXで労いの言葉を頂き非常に励みになりました。月信10月号を最後までご拝読頂き有難う御座いました。

ガバナー月信委員会 委員 大澤 清